

令和8年度第1回花巻市地域公共交通会議録

1 開催日時 令和8年6月29日（月）午後2時00分～午後2時50分

2 開催場所 花巻市花城町1番47号
生涯学園都市会館（まなび学園）3階第2・3中ホール

3 出席者 委員28名中、22名出席、6名欠席（内3名は代理出席）

（1）本人出席 22名

加藤 広太	委員	（国土交通省東北運輸局岩手運輸支局 首席運輸企画専門官）
渋谷 貴佳	委員	（国土交通省東北運輸局岩手運輸支局 首席運輸企画専門官）
藤原 道理	委員	（岩手県県南広域振興局土木部花巻土木センター 道路整備課長）
中野 敬	委員	（花巻市建設部道路課長）
浦部 和之	委員	（岩手県交通株式会社 乗合自動車部長）
立花 徳久	委員	（岩手県タクシー協会花巻支部 支部長）
白藤 潤	委員	（花巻地区タクシー業協同組合 常務理事）
鈴木 一成	委員	（公益社団法人岩手県バス協会 事務局長）
大坪 勝利	委員	（岩手県交通労働組合 執行委員長）
米村 貴也	委員	（東日本旅客鉄道株式会社 新花巻駅長）
小原 基美	委員	（株式会社東和町総合サービス公社 総務部長）
小田島 克久	委員	（花巻市社会福祉協議会 事務局長）
高橋 純子	委員	（花巻市交通安全母の会連合会 会長）
千田 隆次	委員	（花南地区コミュニティ会議 会長）
平賀 仁	委員	（太田地区振興会 会長）
中島 健次	委員	（矢沢地域振興会 会長）
伊藤 誠	委員	（内川目コミュニティ会議 会長）
佐々木 吉美	委員	（山屋公民館 館長、八重畑コミュニティ協議会構成員）
浅沼 正昭	委員	（明日の小山田を考える会 会長、小山田振興センター）
鈴木 康夫	委員	（富士大学経済学部経済学科 教授）
佐々木 豊	委員	（一般社団法人花巻観光協会 専務理事）
蛭田 健次	委員	（花巻市建設部長）

（2）欠席者 6名

小笠原 久人	委員	（岩手県県南広域振興局経営企画部 経営企画室長）
菅原 和郎	委員	（岩手県警察花巻警察署 交通課長）
青木 徹	委員	（国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所調査課長）
米澤 充	委員	（花巻市PTA連合会 会長）
高橋 一彦	委員	（宮野目コミュニティ会議 会長）
木村 清且	委員	（花巻商工会議所地域開発委員会 委員長）

（3）事務局 5名

建設部都市政策課 高橋和司課長、戸田直之課長補佐、川村直之公共交通係長、
佐藤太一主査、菅田咲樹主査

4 傍聴者 なし

- 5 内 容
- 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 協議
議案第1号 令和7年度事業報告及び収支決算について
議案第2号 令和8年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
議案第3号 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金に係る地域公共交通計画の策定について
 - 4 その他
 - 5 閉会

6 議事録

担当	内容
事務局（戸田補佐）	皆さんお疲れ様でございます。 それでは、定刻となりましたので、これより令和8年度第1回花巻市地域公共交通会議を開催いたします。 私は、本日の進行を務めます都市政策課課長補佐の戸田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
事務局（戸田補佐）	初めに資料の確認をさせていただきます。 資料は事前に送付させていただいた3種類と本日配布いたしました1種類の計4種類です。 事前に送付させていただいております資料は、1つ目が、ホチキス止めで、表紙に「令和8年度第1回花巻市地域公共交通会議」と記載してある次第と協議資料、2つ目が、右上に「別添資料」と記載している「地域公共交通計画認定申請書」になります。3つ目が、右上に「参考資料」と記載している花巻市地域公共交通計画を抜粋した資料となります。 また、本日配布いたしました資料は、本日の公共交通会議の出席状況を記載した公共交通会議委員名簿、座席表を配布しております。資料の不足はございませんか。

（特になし）

事務局（戸田補佐）	協議に先立ちまして、本年1月23日開催の花巻市地域公共交通会議以降に、人事異動等により新たに委員にご就任いただきました方をご紹介します。本日お配りした「委員名簿」の備考欄に新任と記載されておりますので、ご覧いただきたいと存じます。 第1号委員といたしまして、国土交通省東北運輸局岩手運輸支局首席運輸企画専門官の加藤広太様でございます。同じく、第1号委員と
-----------	---

いたしまして国土交通省東北運輸局岩手運輸支局首席運輸企画専門官の渋谷貴佳様でございます。第2号委員といたしまして、岩手県県南広域振興局経営企画部経営企画室長の小笠原久人様でございます。本日は代理で、特命課長の佐藤慎吾様にご出席いただいております。第4号委員といたしまして、国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所調査課長の青木徹様でございます。本日は代理で、調査課地域連携係長の長崎円美様にご出席いただいております。同じく第4号委員といたしまして、東日本旅客鉄道株式会社新花巻駅長の米村貴也様でございます。第5号委員といたしまして、花巻市PTA連合会会長米澤充様でございます。本日はご都合により欠席する旨のご連絡をいただいております。委員の任期は、令和8年11月30日までとなっております。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、ご都合により代理でご出席いただいている委員をご報告いたします。第6号委員の花巻商工会議所常議員・地域開発委員会委員長の木村清且委員の代理でご出席の花巻商工会議所常議員・地域開発委員会 副委員長の姉帯充志様でございます。その他、本日、欠席の委員につきましては、公共交通会議委員 出席者名簿をご確認ください。

続きまして、市の出席職員を紹介いたします。公共交通を担当しております建設部より、都市政策課長の高橋でございます。都市政策課公共交通係長の川村でございます。都市政策課佐藤主査でございます。都市政策課菅田主査でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局（戸田補佐） 次に、次第の2「あいさつ」に移ります。中島会長よりご挨拶を頂戴いたします。

中島会長 皆さんこんにちは。会長を務めさせていただいております中島でございます。本日はお忙しい中このようにお集まりいただきありがとうございます。

本日の議題は、「令和7年度事業報告及びに収支決算の承認について」「令和8年度事業計画（案）及びに収支予算（案）の承認について」「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金に係る地域公共交通計画の策定について」の3点について協議していただきます。

委員の皆様からはご意見やご提案を頂戴したいと考えておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

事務局（戸田補佐） 中島会長ありがとうございました。

事務局（戸田補佐） それでは、次第の３「協議」に入ります。花巻市 地域公共交通会議設置要綱 第５条第３項により、「会長は交通会議を代表し、会務を総括し、交通会議の議長となる。」と規定されておりますことから、中島会長に議長として進行をお願いいたします。

中島会長 中島でございます。皆さまの活発なご意見をいただきながらこの会を進めて参りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。
それでは、議案第１号「令和７年度事業報告及び収支決算の承認について」を事務局より説明願います。

事務局（菅田主査） それでは、議案第１号、「令和７年度事業報告及び収支決算について」ご説明をさせていただきます。資料の１ページをお開きください。

はじめに、本事業の概要についてご説明いたします。花巻市では、支線路線バスの廃止に伴う代替交通や、交通空白地域の縮減のため、予約乗合交通を導入しております。その中で、幹線バス等の地域間交通ネットワークと接続するなどの補助要件を満たす地域では、「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」を活用し、地域内交通の維持・確保を図っております。この「フィーダー補助金」につきまして、令和７年度事業から、補助対象事業者が活性化法定協議会となりましたことから、「市町村法定協議会」でございます、本会議におきまして、「フィーダー補助金」に係る計画策定や補助金申請等を実施しています。

令和７年度の会議の開催についてご報告します。令和７年度は、合計２回会議を開催し、第１回目は、令和７年６月２７日に、第２回目は、令和８年１月２３日に開催いたしました。協議事項は、記載のとおりです。

続きまして、令和７年度の事業内容をご報告いたします。事業内容は、①から③に記載のとおりです。１つ目に、第１回目の会議で議題として上げておりますが、フィーダー補助金の補助要件を満たす大迫地域・西南地域・花巻西部地域・花巻東部地域の４地域について、令和８年度、令和７年１０月から令和８年９月までの事業期間の地域公共交通計画を策定しております。２つ目に、第２回目の会議で議題として上げておりますが、令和７年度、令和６年１０月から令和７年９月までの期間の４地域についてのフィーダー補助金に係る地域公共交通計画の一次事業評価を実施しております。３つ目に、令和７年度フィーダー補助金の交付申請を令和７年１１月２８日に、請求・支出

事務として、令和 8 年 3 月 30 日に国から補助金を受領し、4 月 3 日に運行事業者様へ交付をしております。

続きまして、令和 7 年度収支決算報告をいたします。2 ページ目をお開きください。上側の表には収入を、下側の表には支出を記載しております。一番左の列から収支の項目、本年度予算額、決算額、決算額から予算額を差し引いた差引額、具体的な内容を記載した備考の順に記載しております。はじめに、収入の部でございますが、決算額及び備考欄のみご説明させていただきます。項目 1 補助金 4,373,000 円、国の補助金として、大迫地域が 2,551,000 円、西南地域が 1,284,000 円、花巻西部地域が 421,000 円、花巻東部地域が 117,000 円となります。項目 2 負担金 14,000 円、市からの負担金となります。項目 3 雑収入 0 円、収入の部合計は、4,387,000 円で行いました。続きまして、支出の部についてご報告します。項目 1 需用費 0 円、項目 2 役務費 3,520 円、補助金の 4 地域分振込手数料となります。項目 3 補助金 4,373,000 円、フィーダー補助金として、運行事業者様へ支出したものでございます。支出の部合計は、4,376,520 円で行いました。収支決算額は、収入合計額 4,387,000 円から支出合計額 4,376,520 円を差し引きまして 10,480 円が翌年度への繰越金となります。以上で説明を終わります。

中島会長 令和 7 年度決算につきまして、監事より監査報告をお願いいたします。

藤原委員 花巻土木センターの藤原でございます。令和 7 年度花巻市地域公共交通会議会計の諸帳簿、商標書類を監査した結果、適正に処理されていることを確認したので報告いたします。

中島会長 事務局から説明及び監査報告がありましたが、ご質問やご意見がある方はお願いいたします。

(一同、異議なしの声)

中島会長 ご質問やご意見が無いようですので、事務局案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか？

(一同、異議なしの声)

中島会長

ありがとうございました。

続きまして、議案第2号「令和8年度事業計画案及び収支予算案について」事務局より説明をお願いします。

事務局(菅田主査)

それでは、議案第2号、「令和8年度事業計画案及び収支予算案について」ご説明をさせていただきます。資料の4ページをお開きください。

はじめに、本事業の概要につきましては、議案第1号と同様となりまして、令和8年度につきましても、市町村法定協議会でございます、本会議におきまして、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金、通称フィーダー補助金に係る計画策定や補助申請等を行う計画です。

令和8年度の会議の開催につきましては、第1回目は、本日の開催、第2回目は、令和9年1月中旬を開催予定としており、その他、協議案件が生じた際は、随時開催をいたします。

令和8年度の事業内容につきましては、1つ目に、本日、開催しております、第1回会議・第3号議案にて、フィーダー補助金の補助要件を満たす大迫・西南・花巻西部・花巻東部の4地域における令和9年度事業の地域公共交通計画の策定をいたします。2つ目に、本年度第2回目の会議で議題として上げさせていただく予定の、令和8年度期間、4地域についての、フィーダー補助金に係る地域公共交通計画の一次事業評価を実施する予定でございます。3つ目に、令和8年度事業のフィーダー補助金の交付申請及び請求・支出を行う予定です。

続きまして、令和8年度収支予算案についてご説明をいたします。5ページ目をお開きください。上側の表には収入を、下側の表には支出を記載しており、一番左の列から収支の項目、前年度予算額、本年度予算額、本年度予算額から前年度予算額を差し引いた差引額、具体的な内容を記載した備考の順に記載しています。

はじめに、収入の部につきまして、予算額と備考欄を読み上げ、ご説明いたします。項目1補助金4,373,000円、昨年度の決算額と同額で地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金を見込んでおります。項目2負担金14,000円、前年度と同様に花巻市から負担金見込んでおります。項目3繰越金10,480円、項目4雑収入520円、預金利息を見込んでおります。収入の部、本年度合計予算額は、4,398,000円でございます。

続きまして、支出の部についてご説明いたします。項目 1 需用費 21,000 円、事務用消耗品費として計上しております。項目 2 役務費 4,000 円、補助金の振込手数料 1,000 円かける 4 地域分を計上しております。項目 3 補助金 4,373,000 円、運行事業者様へのフィーダー補助金を計上しております。支出の部、本年度 合計予算額は、4,398,000 円となります。収入予算額 4,398,000 円、支出予算額 4,398,000 円となります。以上で説明を終わります。

中島会長 事務局から説明がありましたが、皆様からご質問やご意見はございますでしょうか。

大坪委員 予算案についてですが、この国の補助金、昨年と同額を計上しておりますが、去年と同じという算出の根拠を教えてください。といいますのも、燃料費がどうなっていくのかということや人件費賃上げなども考慮した上で算出した予算なのかどうかを教えてください。

事務局（川村係長） フィーダー補助金については、サービスの提供時間や時間当たりの経費単価を基に算出しております。この単価というのが、運行事業者ごとの経費単価と毎年国から通知される国単価を比較し、少ない方を採用することとなっております。花巻市では、国単価の方が少ない額であるため、国単価を基に算出をしております。人件費の賃上げや燃料費の増加等を考慮したうえで算出しているかということですが、この国単価は、毎年、情勢や背景等を考慮したうえで、設定されているものでございます。

大坪委員 当然、金額が変更となることもあるということですよね。

事務局（川村係長） 利用者数等に応じて補助金の金額も変わるというものです。

中島会長 その他、よろしいでしょうか。

（一同、なしの声）

中島会長 ご質問やご意見が無いようですので、事務局案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか？

(一同、異議なしの声)

中島会長

続きまして、議案第3号「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金に係る地域公共交通計画の策定について」事務局より説明をお願いします。

事務局（佐藤主査）

それでは、議案第3号、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金に係る地域公共交通計画の策定についてご説明いたします。

資料の6ページをお開きください。本議案の趣旨につきましては、地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金は、地域特性や実情に応じた最適な生活交通ネットワークを確保・維持するため、幹線バス等の地域間交通ネットワークと接続する地域内のバス交通・デマンド交通の運行について支援するものであり、補助要件は、幹線バス等の地域間交通ネットワークと接続することなどとされており、本市においては、大迫地域、西南地域、花巻西部地域、花巻東部地域の4地域で運行する予約乗合交通が補助要件を満たしております。

補助申請にあたっては、市区町村や交通事業者等からなる協議会が策定した「地域公共交通計画」を国に提出し、認定を受ける必要があるため、令和9年度補助金の申請にあたり、「地域公共交通計画」について、本会議で協議いただき承認の後、国に対し認定申請書を提出するものです。

計画期間につきましては、令和8年10月1日から令和9年9月30日です。運行を確保、維持する系統は、大迫地域、西南地域、花巻西部、花巻東部地域の予約乗合交通の4系統とし、各地域の運行予定者は、記載の各運行事業者を予定しております。詳細につきましては、こちらの別添資料をご覧ください2ページ目をご覧ください。

1. 目標と必要性になりますが、当市の地域公共交通計画では、基本的な方針として、利便性の高い花巻市中心部と各地域間の移動を支える、多様な交通手段を共存させ、持続可能な地域公共交通の実現を目指すこととしております。地域内交通に係る取り組みとして、交通空白地域の縮減をするため、予約乗合交通を導入し、地域住民の日常生活の移動手段を確保しております。また、各地域の実態を踏まえながら、大迫地域は、予約乗合交通を令和元年10月から本格運行を開始、西南地域は、令和元年10月から導入、花巻西部及び花巻東部地域は、令和6年10月から予約乗合交通を導入し、各地域において地域内の生活交通の確保を図っております。このため、当該事業により、4地域

の予約乗合交通を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていくことが必要であります。

次の2の事業の目標、効果についてご説明いたします。目標については、令和9年度の目標値を定めるもので、設定にあたりましては、各地域の利用者実績を分析したうえで、花巻市地域公共交通計画における令和10年度の予約乗合交通全体利用者数の目標である26,000人の達成に向けた設定としております。各地域の目標は、大迫地域は3,750人、西南地域は3,500人、花巻西部地域は1,150人、花巻東部地域は450人と設定し、達成を目指します。こちらの参考資料に、花巻市地域公共交通計画を抜粋したページを添付しておりますが、1枚目49ページと記載された資料の基本目標2に、令和10年度時点での、予約乗合交通全体の利用者数の目標値として26,000人と設定しております。

別添資料の2ページ目にお戻りいただいて、事業の効果について説明いたします。事業の効果としましては、予約乗合交通の運行により、地域内交通の確保が図られ、日常生活の移動手段を維持・確保ができ、幹線路線バスへの乗り継ぎが促進されることで、本市が目指すコンパクト・プラス・ネットワークの交通環境構築に貢献します。

次に3の目標を達成するために行う事業と実施主体について説明いたします。次の3ページ目になりますが、令和7年度の事業評価について、記載のとおり一次評価と二次評価の結果を受けたことを踏まえ、次の実施事業、実施主体を設定しました。実施事業は4つ掲げまして、「予約乗合交通の新規導入」、「予約乗合交通の運行形態の見直し」、「待合環境の整備・改善と公共交通の利便性向上」、「公共交通の利用促進」とし、当市及び交通事業者にて実施して参ります。本事業は、花巻市地域公共交通計画において、取り組む事業でありまして、先ほどご覧いただいた参考資料において各事業の詳細を掲載しておりますのでご参考のほどよろしくお願いいたします。

別添資料3ページ目にお戻りいただきます。4の運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者については、6ページ目A4横「表1」において、令和9年度の内容について掲載しております。

左から3列目に運行系統名の項目がありまして、上から大迫、西南、花巻西部、花巻東部地域の予約乗合交通の順で記載しております。各地域の運送予定者は、議案でご説明した運行事業者としまして、運行日数と運行回数は、記載のと通りの計画で設定しております。こちらの内容に沿ったかたちで、7ページ目の10年度計画を記載しており

ます。なお、8～10 ページ目ですが、先ほどご説明した各予約乗合交通の運行区域などの詳細を示しておりますのでご参照のほどよろしくお願いいたします。

資料3 ページにお戻りいただきまして、5. 事業に要する費用の負担者についてですが、大迫地域につきましては、運行経費から国庫補助金を差し引いた差額分を、他3地域は、運行経費から運賃及び国庫補助金を差し引いた差額分を市が補助金として負担します。

次に6. 目標・効果の評価手法及び測定方法については、目標とする年間利用者数に関する実績値の分析等による評価を実施して参ります。

7～9については、本計画では該当がありませんので割愛させていただきます。

4 ページ目の10. 事業を行う地域の概要については、11 ページ目の「表5」をご覧ください。本事業を行う地域の概要について、記載しております。記載の各人口に関する数値は、直近のデータであります令和2年国勢調査の確定値を使用しております。前回の計画内容から変更はございません。

最後の12 ページ目のマップについては、人口集中地区、過疎地域を示しておりますのでご参考のほどよろしくお願いいたします。

4 ページ目にお戻りいただきます。11～17につきましては、本計画では該当がありませんので割愛させていただきます。

次に18の協議会の開催状況と主な議論につきましては、開催時期および議論の内容について記載しておりましたのでご確認のほどよろしくお願いいたします。

5 ページ目、19. 利用者等の意見の反映状況ですが、各地域の直近の状況といたしまして、大迫地域においては、令和7年度に、花巻市地域公共交通計画策定時に実施したアンケートや市政懇談会などの結果を踏まえ、運行形態の見直しを図り、西南地域においては、令和元年度に利用登録者へアンケート調査を行い、集約した意見をもとに運行しており、また、運行事業者や地域との協議により運行区域等の見直しを行うなど運行の内容に反映、花巻西部と花巻東部地域においては、令和5年度に行った、地域での意見交換会や、運行事業者との意見交換会を踏まえた計画としております。

20につきましては、該当がないので割愛させていただきます。

以上で説明を終わりますが、本計画につきまして、様式等を含めました軽微な変更等が生じた場合は、事務局に一任いただき事務を進め

させていただきたいと考えてございます。

事務局から説明がありましたが、皆様からご質問やご意見はございませんでしょうか。

平賀委員

太田地区振興会の平賀と申します。今ご説明がありました、別添資料の3ページ目、5番についてお尋ねしたいのですが、費用の総額・負担額というところですか。大迫については運行経費から国庫補助金を差し引いた差額分を負担しており、西南地域・花巻西部地域・花巻東部地域は、運行経費から運賃及び国庫補助金を差し引いた差額分を負担することとしておりますが、この違いはどういったものでしょうか。西南地域では乗車した方からいただいた運賃を差し引いて、それでも足りなかった分を市が負担していると思いますが、大迫の場合は運賃を差し引かない。何か意味があるのでしょうか。

事務局（川村係長）

大迫地域については、令和7年度から運行内容を変更しております、運行日を週3日から週5日に変更しており、利用料金は、1乗車あたり600円とさせていただいております。その際に、運行事業者の方々と相談をさせていただいたのですが、運行日が増え、タクシー利用の減少が見込まれるということがございましたので、運賃収入は運行事業者の方々の収入とさせていただくこととしております。そのため大迫地域については、運行経費から国庫補助金のみを差し引いた金額となっているものです。

その他の西南地域・花巻西部地域・花巻東部地域については、運行内容に変更はなく、算出方法についても当初から変更しているものではございません。これらの地域については、車両の借り上げ単価を変更していないといった背景もございましたので、運行経費から運賃及び国庫補助金を差し引いた差額分を補助金としており、地域ごとに運行内容や算出方法が異なるという背景がございます。

今後、西南地域、花巻西部地域、花巻東部地域についても運行内容は随時見直していく必要がございますので、見直しに伴って補助金の算出の仕方や車両の単価等については運行事業者さんと協議させていただければと考えております。

平賀委員

分かったようで分からないのですが。大迫の場合には、3日から5日になって、400円から600円になって、その運賃は、運行事業者の方へ払っているということですか。

そうすると西南だって同じじゃないですか。これは市へ払うのではなくて、利用した人たちは、運行事業者へ運賃を払いますよね。

事務局（川村係長） 実際の運賃収計は、運行事業者さんの方で行ってございましたけれども、補助金の計算の方法としては、その分を差し引いているということです。

先程の運行内容の見直しの際に車両の借り上げ単価について、タクシー事業者さんにご相談のうえということでご説明しましたが、それでも週5日になることによって、タクシー事業者さんの売り上げ・利益が圧迫されるということがございましたので、利益があまり少なくならないように、3地域の分については、利用料もタクシー事業者さんの収入としましょうという形で、借り上げ単価を設定しました。

残りの西南・西部・東部については、今後、事業者さんとの協議のうえ検討をしていきたいと考えております。

平賀委員 分からないけど分かりました。気になるのがですね、本日の審議で国の補助金について決算報告がありましたが、この国の補助金以外に花巻市が公共交通を維持するために補助・助成している金額としてはどのくらいになりますでしょうか。令和7年、総額でどのくらい市が公共交通事業者に交付しているのか、教えていただきたいです。

事務局（川村係長） 予約乗合交通については、大迫地域、西南地域、花巻西部地域、花巻東部地域の他に石鳥谷地域、東和地域がございますので、全部で6地域、1億3,000万円ほど市の補助金を運行事業者様に交付しております。

その他、路線バス・コミュニティバスといったものがございましたけれども、そちらも市が交付しているものとしては、1億3,000万円ほどとなります。

平賀委員 ありがとうございます。国の補助金は知れていますね。僅か400万円。花巻市が2億6,000万円、7,000万円も支出しているということですもんね。よく分かりました。ありがとうございます。

中島会長 その他、ご質問等はございますでしょうか、

渋谷委員 岩手運輸支局の渋谷と申します。ご説明をいただきましたフィード

一系統国庫補助金につきましては、幹線系統との接続を通じて地域の公共交通ネットワークを維持していこうというものでございまして、この計画の中でも4地域において予約乗合交通を継続しようという内容であったと思います。ご説明の中での事業評価の中では、達成率が低い系統が多くあったので、運行形態の見直しや待合環境の整備、周知活動等の利用促進を行うことを検討していると思います。またその中で持続可能なサービスの確保ということで、改めてではございますけれども、地域の方々や運行事業者様と連携しながら、取り組みを進めていただくよう、引き続きよろしくお願いいたします。

中島会長 ご意見ということでしたが、事務局から、ございますでしょうか。

事務局（川村係長） ご意見ありがとうございます。仰っていただいた通り昨年度、目標値を達成しない系統がございましたので、昨年度に引き続き、利用促進に努めてまいります。

本年度立てた目標値というのは、年間で何人くらい増やせばこのくらいになるのかというところで試算した数値でございますので、達成できるよう、事業者の方々も含めて事業を進めていければと考えております。ありがとうございます。

中島会長 その他、ご質問等はございますでしょうか。

（一同、なし）

中島会長 ご質問やご意見が無いようですので、事務局案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

（一同、承認）

中島会長 以上で協議事項は終了いたしました。皆様のご協力によりスムーズに協議を終えることができました。ありがとうございました。それでは、今後の進行は事務局にお願いしたいと思います。

事務局（戸田補佐） それでは、次第の4「その他」に移ります。事務局としては、報告等を持ち合わせておりませんが、皆様から何かございますでしょうか。

(一同、なし)

事務局（戸田補佐） それでは、ないようですので、以上をもちまして令和８年度第１回
花巻市地域公共交通会議を閉会させていただきます。皆様、大変お疲れ様でした。